

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年2月14日

事業所名: 放課後等デイサービス ILO

対象人数(保護者)13人 回答者数 13人 回収 100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13					
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1	最近は事業所へ行くことがほとんどないのでわからない(自宅玄関先でのやりとりのため)	室内は個室や静養室があり、構造化された環境になっております。室内の段差等はありませんが、トイレは段差があるためタイル面にマットを敷き、怪我予防をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせて合わせた空間になっていると思いますか。	12			1	最近は事業所へ行くことがほとんどないのでわからない(自宅玄関先でのやりとりのため)	毎日、清掃や換気、消毒等を徹底し心地よく過ごせるように環境整備に努めています。また、その日の活動に合わせてフロアや個室を使ったりしながら活動を行っています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に 応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	13					
	⑥ 事業所が公表している支援 プログラム(※2)は、事業所の 提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	13					
	⑦ 子どものことを十分に理解し、 子どもと保護者のニーズや課 題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個 別支援計画)(※3)が作成され ていると思いますか。	13					
	⑧ 放課後等デイサービス計画に は、放課後等デイサービスガイ ドラインの「放課後等デイサー ビスの提供すべき支援」の「本 人支援」、「家族支援」、「 移行支援」で示す支援内容から 子どもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定され ていると思いますか。	13					
	⑨ 放課後等デイサービス計画に 沿った支援が行われていると思 いますか。	13					
	⑩ 事業所の活動プログラム(※4) が固定化されないよう工夫さ れていると思いますか。	13				活動プログラムが多彩で子ども が楽しく参加している様子があり、 とても良いと思う	活動プログラムは固定化されな いよう、リーダー職員をローテ ーションを組んで職員間で意見 を出し合いながら立案をして います。
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との 交流や、地域の他の子どもと 活動する機会がありますか。	11	1			1	卒園した子ども園との交流も 続けて下さり、地域の子ども達 とのつながりを持っています

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13						
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13						
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	7			3	まだ家族等も参加できる研修会は実施できていませんが、今後検討していきたいと思います。チラシの配布や情報提供はその都度行っています。	
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					送迎時や事業所のLINE等でその日の様子を伝えてもらっています	ありがとうございます。今後も継続して行きたいと思います。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				困り感がある時に話しをよく聞いてもらい、スモールステップで我が子にあった支援の提案をしてもらっている	ありがとうございます。今後も対応して行きたいと思います。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13						
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	7			5	年に1回家族や兄弟(姉)の交流イベントがあるといいなと思います	今後検討していきたいと思います!
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				1	相談しやすいです。送迎時にお話しした事がスムーズに責任者の方に伝わり、対応もいつも丁寧で安心して相談できています	ありがとうございます。今後もより一層良い支援ができるよう努めていきます。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					送迎時や連絡帳で十分に情報伝達してもらえています	
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	3					現在、活動内容は連絡帳に記載させていただいておりますが、今後は保護者様専用ページにて活動写真掲載等もしていけるように専用ソフトを導入し、ご案内の準備中です。自己評価表の結果はホームページに公開させていただいております。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13							

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10				3	各マニュアルを策定し、事業所内の見えやすい箇所に設置しています。保護者に対する各マニュアルや実施している訓練のねらい・様子についての周知が十分に行えていないため、今後は全員に周知してもらえよう努めて行きます。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10				3	現在は主に施設内の火災や地震を想定した避難訓練を行っています。今後は、水害やその他の災害を想定し、保護者への引き渡し訓練や職員間の防災意識を高められるような研修を計画し、災害に備えた体制作りを行っていきたく思います。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				1	
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				支援員さんの事が大好きで、毎回楽しそうに通所しています	ありがとうございます。今後も安心して通所してもらえるように努めます。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13				特に土曜日の朝は、「今日はILOさんだよ!」と言うと「おー!」とやる気全開で準備してくれます	今後もこどもたちが楽しく通所することができるように、環境を設定したり楽しい活動プログラムや行事を計画し実施していきます。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	13				いつも丁寧な支援と関りをもっていただいております	今後もより一層良い支援ができるよう努めていきます!

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。